

＜平成 26 年度＞

監査委員事務局の取り組み実績

■ 基本方針 ■

本市がめざす「選ばれるまち」にふさわしい事務執行が行われているかをチェックし、必要な改善を促す立場の行政委員会として、対象部署への各種監査、例月現金出納検査及び決算審査等について、平成26年度年間監査計画に基づき実施します。

監査日程については、市議会や本市の主要なスケジュールも考慮した設定に努めます。

I 重点施策・事業

◆定期監査〔地方自治法 199 条 4 項〕

年間監査計画に基づく定期監査として、平成26年度は6つの部等と教育機関について、財務に関する事務の執行状況等の監査を行います。事務局は書類の審査及び現地調査等を通じて、対象部署の事務の執行状況全般を監査委員の協議の場へ報告します。監査委員から対象部署への聞き取りの後、指摘事項や意見要望事項等の監査結果の講評が行われます。

実績

- ・平成26年度年間監査計画に基づき、教育委員会社会教育部、都市整備部、教育機関（学校園）、公共施設部、子ども青少年部、総務部及び環境事業部の定期監査を実施した。

◆随時監査（財政援助団体等監査、同監査に伴う所管部署に対する監査及び工事監査）

〔地方自治法 199 条 5 項・7 項〕

定期監査と同様に事務局による書類の審査及び現地調査を行います。工事監査については、専門の技術士に調査業務を委託します。

実績

- ・財政援助団体等監査としては、公の施設（枚方市立障害者社会就労センター）の指定管理者監査を、同監査に伴うそれぞれの所管課への随時監査を実施した。また、水道部管理棟・水質試験棟更新工事を対象とした工事監査を実施した。

◆例月現金出納検査

〔地方自治法 235 条の 2 1 項〕

監査委員が毎月行う各会計の現金出納検査に際し、事務局として事前に各会計の書類審査を実施し、その結果を審査当日に報告します。

実績

- ・原則として、毎月 26 日に前月分の各会計の現金出納状況について、検査を実施した。

◆決算審査及び財政健全化法に基づく審査

〔地方自治法 233 条 2 項〕

市長から提出された前年度の決算書等について、事務局として提出書類や数値の審査等を行い、監査委員の協議の場へ報告します。監査委員は関係部局への聴取を行うとともに、これらのプロセスを踏まえ、会計ごとに意見をまとめた決算審査意見書として市長へ提出します。

実績

- ・決算審査及び財政健全化法に基づく審査を7月から9月に行った。決算審査意見書は、9月1日に市長に提出した。財産区会計決算については、審査を7月から11月に行い、11月11日に市長に決算審査意見書を提出した。

◆住民監査請求監査〔地方自治法 242 条 1 項〕

住民監査請求が提出された場合は、事務局において形式的審査を行い、監査請求書を收受し、請求要件の調査を行った後、受理の可否について監査委員協議に付します。

受理が決定された場合は、60 日間の監査期間に基づき事前調査等を行い、監査委員の協議の場へ報告します。

実績

- ・却下 1 件、不受理 4 件であった。

II 行政改革・業務改善

<業務改善のテーマ・目標>

| テーマ | 取り組み内容・目標 |
|-------------|---|
| 包括外部監査結果の活用 | 過去に包括外部監査の対象となった部署を監査委員が定期監査を行う際には、包括外部監査のその後の取組や改善状況の確認を基本に行っているが、これに加え、包括外部監査結果と同様又は類似の事務処理等を行っている他部署を監査するに当たっても、可能な限り包括外部監査結果を踏まえたものとする事で全庁的な改革・改善のサイクルへとつなげていく。 |

実績

- ・定期監査に当たり、過去の包括外部監査において出された意見等に対する取組や改善状況について所管課に照会・確認し、監査委員の協議の場へ報告した。

III 予算編成・執行

◆平成 26 年度についても、事務局運営における効率的な予算執行に努めます。

実績

- ・予算の効率的な執行に努めた。

IV 組織運営・人材育成

◆事務局協議の実施

対象部署の書類の審査及び現地調査等を通じて得た情報について、職員間における課題の理解や認識の共有化を行い、運営方針に基づく組織目標の実現に向けて、適切な進行管理に努めます。

実績

- ・講評前の監査委員協議に先がけて事務局職員による協議を行い、監査における課題等の理解や認識の共有化を行い、報告書にまとめて、監査委員に提出した。

◆研修の充実

全ての部署を監査する立場であることから、職場研修、派遣研修等を通じて、監査技術や手法だけでなく、市政全般に関する知識や理解力を高め、事務局職員としての分析及び説明能力の向上を図ります。

実績

- ・主に監査委員事務局への異動者を外部の研修機関による研修に派遣した。
また、各種職員研修への参加も積極的に行い、その内容を朝礼の時間等を利用して報告し、説明能力の向上を図った。

◆効率的な事務局運営

班体制での業務運営と OJT を通じて異動者の早期の習熟と育成を行いつつ、事務局全体として、時間外勤務の縮減に努めます。

実績

- ・決算審査時等繁忙期の時間外勤務は増加傾向になったが、最終的には年間を通じた縮減ができた。

V 広報・情報発信

<ホームページの充実等>

監査結果を公表後速やかに公式ウェブサイトである「枚方市ホームページ」に掲載するなど、説明責任の充実を図ります。

庁内に対しては、グループウェア上の監査庁内報「オーディット・フォーラム」の発行を通じ、監査結果等をわかりやすく伝えていきます。

実績

- ・ 監査結果等については、公表後速やかに「枚方市ホームページ」に掲載した。
- ・ 「オーディット・フォーラム」については、10月に第11号、3月に第12号を発行した。